

鶴岡のお米お届けいたします

(株)アシスト
2020.11月号



10月の中旬から下旬にかけ、稲の刈取後の粉摺した玄米を農協へ出荷する一連の作業が無事終わりました。10月20日過ぎには大豆の刈取作業に入っています。勢いよく生長した大豆の写真を9月号に掲載しましたが、刈取時期になると葉は自然と落ち、殻のついた大豆と幹だけの畑と化します。大豆は晴天と風が続き十分に空気が乾燥した日が続かないと刈取作業には入れません。事務所の窓辺のテルテル坊主に今年も晴天が続く事を祈りながら刈取作業を行う予定です。



8/21撮影



10/22撮影



落葉した大豆の幹

☞☞刈取前の大豆圃場です。夏には120cm程まで生長した大豆が、刈取前には落葉し殻のついた大豆と幹だけになります。大豆を刈取出来る条件として、良く乾燥した状態でなければなりません。天気予報の情報は時間毎に確認しながらの作業です。今年は1台大豆コンバインを購入し、2台で刈取作業を行い作業効率も上々でした。刈取した大豆は軽トラの荷台に準備したフレコンバッグに投入し、当社で稲を乾燥した乾燥機で乾燥、調整を行います。水分調整が非常に重要となるので、常に乾燥状態は観察が必要となります。



刈取の様子 10/28撮影



フレコンバッグへ投入!! 10/28撮影



当社の乾燥機4台で水分調整 10/29撮影



☞10/27、鳥海山には雪が積もっていました。今年は去年より早い積雪となったようです。積雪が山の麓の紅葉を更に彩りを引き立ててくれているようにも見えました。

☞秋は日没が早く、夕焼が映え、天気を見て湯野浜の海岸へ足を伸ばしてみると、アマチュアのカメラマン達が写真を撮っていました。海に沈む夕日はなかなか見れませんが、この日はなんとか雲の切れ間から覗くことが出来ました。 10/10撮影

鶴岡のお米
お召しあがり下さいませ

農作業の様子や庄内、鶴岡を
独自のコメントで毎月発行する
チラシで届けしています

生産者 株式会社 アシスト